

伊万里 市議会だより

第20号

平成19年
(2007年) 1月



♪ミッキーマウス、ミッキーマウス、ミッキー、ミッキーマウス♪

(伊万里保育園 / うたフェスタ 2006)

一般会計

12月補正額：27億3,401万円

予算総額：228億691万円

(対前年度同期 +28億7,507万円、
+14.4%)

中核的病院整備問題
方向転換へ(3ページ)

平成18年伊万里市議会第4回定例会 会 期 日 程

12月

開議時刻 午前10時

日	種 別	内 容
1(金)	本会議	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等31件一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
5(火)	本会議	議案等に対する質疑
6(水)	本会議	議案等に対する質疑 議案第149号の討論、採決 議案の常任委員会付託
7(木)	休 会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
8(金)	休 会	特別委員会(地域医療整備対策)
11(月)	本会議	一般市政に対する質問
12(火)	本会議	一般市政に対する質問
13(水)	本会議	一般市政に対する質問
14(木)	休 会	常任委員会
15(金)	休 会	常任委員会
18(月)	休 会	正副委員長会
20(水)	本会議	市長提出追加議案2件、議会議案1件、 意見書1件上程 市長提出追加議案の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 議会議案等の提案理由説明 議会議案等に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 決算審査特別委員会報告 特別委員会中間報告に対する質疑 決算審査特別委員会報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論、採決 閉 会

議会ホットコーナー

監査委員 交代

小島 豊氏、岩本盛房氏の退任・
辞任に伴い、

代表監査委員 林 大作氏、
議会選出監査委員 樋渡伊助氏を
選任することに同意しました。

自治体の財政状況が厳しい中で、
監査委員の役割は大変重いものがあり
ます。

健康にご留意の上、ご活躍されま
すことを、ご期待申し上げます。



意見書

●「森林・林業・木材
関連産業の活性化
と林野事業の健全
化を求める意見書」

地方自治法第99条の規
定により関係機関に意見
書を提出しました。
(本文は、会議録に掲載
します)

委員会条例改正

去る6月議会で、次の一般選挙
から議員定数を28人から24人に減
じる条例改正を行いました。これ
に伴い、委員会の構成をどのよう
にするのかについての検討を、議
長から議会運営委員会に要請され
ていましたので、協議の結果、現
在の4委員会を「総務」「文教厚生」
「産業建設」の3委員会とすること
に決定し、議員提案により条例を
改正しました。

全国の定数24人議会の状況を調
査したところ、4委員会のところ
が40議会、3委員会が52議会であ
り、構成人数が少ないよりは多い
ほうが議論が活発化するとの事例
もあり、1委員会の人数を6人で
はなく8人とする結論になりました。

また、各委員会
から2名ずつ選出
していた議会運営
委員会は、3名づ
つの9人とするこ
とになりました。



中核的病院整備問題 大きな方向転換へ

これまで、伊万里市立市民病院と社会保険浦之崎病院との統合に向けての検討がなされてきましたが、今議会で市長は、下記5つの理由から伊万里市単独ではなく、西部医療圏で考えることが望ましいとの判断を示し、有田共立病院まで含めた協議を申し入れることを表明。その後、有田町長からの同意も得られました。今後の協議が注目されます。

理由：①財政的な負担が大きい ②同規模の公立病院ができれば共倒れの心配がある
③規模拡大により医師にとっても魅力的な病院となり、大学からの医師派遣が受けやすくなる ④市民病院と浦之崎病院との統合では小児科医の確保の目処もなく、医療の限界が予想される ⑤脳血管疾患などの高度医療や救急体制へ対応する体制が整備される

そこで、情報共有のための特集として、3病院の現状についての資料を提供します。

名 称	伊万里市立市民病院	社会保険浦之崎病院	有田共立病院
所 在 地 〈現施設の整備〉	伊万里市二里町大里乙1271 〈昭和54(1979)年〉	伊万里市山代町立岩417 〈昭和53(1978)～54年〉	有田町立部乙2485-3 〈昭和41(1966)～42年〉
敷 地 面 積	8,267㎡	13,797㎡	11,025㎡
診 療 科 目	内科、外科、小児科、放射線科、胃腸科、呼吸器科、循環器科、耳鼻咽喉科(8科)	内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、放射線科、呼吸器科、肛門科、リハビリテーション科、循環器科、消化器科(12科)	内科、外科、小児科、呼吸器科、性病科、リハビリテーション科、放射線科、整形外科、消化器科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科(13科)
外 来 診 療 時 間	月～土曜 8時30分～12時 (急患は随時)	月～金曜 8時30分～17時15分 土曜8時30分～12時15分 (急患は随時)	月～金曜 9時～12時 (急患は随時)
床 数	一般病床 60床 ★感染症病床 4床	一般病床 72床 療養病床 40床 結核病床 28床	一般病床 165床
本 館 構 造	鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階	鉄筋コンクリート造 地上2階	鉄筋コンクリート造 地上4階
延 床 面 積	5,369.8㎡	5,669.3㎡	10,848㎡
医 師 数 及 び 看 護 師 数	常勤医師 7人 非常勤医師 3人 看護師 36人 臨時看護師 7人	常勤医師5人、嘱託1人 非常勤医師 10人 看護師 36人 看護助手 8人	常勤医師 13人 非常勤医師 7人 看護師 81人 臨時看護師 19人
入 院 患 者	15,774人 (H17)	20,581人 (H17)	46,960人 (H17)
外 来 患 者	34,197人 (H17)	42,956人 (H17)	73,661人 (H17)
収 支 H 1 7 年 度	9億4482万円 － 10億2469万円 ＝△7987万円	11億3367万円 － 11億1146万円 ＝ 2221万円	24億8541万円 － 24億7062万円 ＝ 1479万円

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された14議案について審査を行い、全議案とも原案のとおり可決すべきものと決定されました。

条例議案は①地籍調査の実施に伴い大川町および南波多町地内の字を一部変更②給与に関する法改正に伴い、市職員の3人目以降の扶養手当を平成19年4月から5,000円から6,000円に引き上げる③退職者の補充として市民病院で新たに雇用する嘱託看護師、嘱託検査技師、嘱託社会福祉士、嘱託医療事務員の報酬支給するための条文改正、④「佐賀県市町総合事務組合」の設置とこれに伴う「消防団員災害補償組合」「自治会館組合」の解散や財産処分に関して協議することが同意され⑤解散協議が行われてきた「伊万里・北松地域広域市町村圏組合」の解散と財産の処分などが可決されました。

補正予算では、4月に実施される県知事・県議会議員選挙に要する経費や県民投票の条例制定を求め実施された署名を審査するための経費。

老朽化した消防施設の修理を行う大川内町岩谷区、山代町久原1区、大川町川原区、南波多町古川区に対する補助金(総事業費の70%)。

諸支出金で市民病院(1億4,617万円)水道事業(1億1,426万円)工業用水事業(2億198万円)が補助金や投資および出資金として特別会計へ繰出されます。



伊万里市に帰属する電算センター(立花町)

◎浜野 義則 ○川内 学 黒川 通信 草野 譲
樋渡 雅純 渡邊 英洋 内山 泰宏

行政視察報告

10月2日～5日の日程で行政視察を行いましたので、概要を報告いたします。

石川県金沢市：景観条例

庁内に「まちなみ対策課」が設置され、5世紀の間大きな戦火や自然災害に見舞われなかった歴史的環境と自然環境を守り、これと調和した近代的都市づくりを行うために、昭和43年、全国の自治体に先駆けて「金沢市伝統環境保存条例」を制定し、保存区域として当初13区76.56haが指定された。

その後も市民の参加を得ながら数多くの条例制定を行い、伝統的建造物修復支援制度や眺望景観の保全等が実施され、H元年には「金沢市における伝統環境の保全および景観の形成に関する条例」を制定。指定区域も伝統環境保存区域1,887.0ha、近代都市景観指定地域154.4haに拡大されて市民参加による個性を生かした総合的、計画的な景観作りが進められている。

福井県勝山市：エコミュージアム

日本有数の恐竜化石発掘地としてH12年夏に「恐竜エキスポふくい2000」が開催された。「エコミュージアム計画」は勝山市総合計画の基本プロジェクトとして位置づけられ、「町全体を屋根のない博物館」とみたと市民と行政が一体となってそれぞれの地域の歴史、文化、自然などの中から大切なものを再発見し創造しながら地域の財産、遺産として次世代に引き継ぎ、これらをネットワークさせながら観光などを通じて活力あるまちづくりへの取り組みが行われている。

福井県福井市：21世紀わがまち夢プラン推進事業

福井市は自治体の住みよき順位の総合評価では例年最上位に位置付けられている。

H6年に市政運営の基本を「運動会型の市民参加」におき、まちづくりには一人一役を担ってほしいと呼びかけ「市民参加型のまちづくり」が展開されてきた。この取り組みにより「深い郷土愛」や「地域住民の連帯意識」が向上し、まちづくりを市民自らが実践しようという市民活動への意識の高まりを見せて、H16年10月には「住みたくなるまちづくり全国交流大会」が開催された。

これらの成果を礎にH17年度から19年度まで、最も身近な生活圏である小学校区を単位として「市民参加型まちづくり」から「市民協働型まちづくり」に発展させた「夢・創造事業」が実施されている。



伝統的建造物群保存地区(金沢市)

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、
教育委員会、市民病院

付託された条例議案4件、一般議案2件、補正予算6件について、慎重審査の結果、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

財政健全化のための一環として、来年度から留守家庭児童クラブ利用料と市立幼稚園保育料を改定する提案に対して、委員一同、大変苦慮しました。クラブ利用料は、経費のうち利用者が1/2を、残りを国・県・市が負担するという国の方針に対し、現状では利用料収入(保護者負担)が27%であるため、月額500円値上げするものです。

平成20年度から、新たな後期高齢者医療制度が創設されることに伴い、佐賀県では19年2月に「後期高齢者医療広域連合」が設置されるため、その規約案が提案され、委員会では、この制度の元になった法律の制定時に懸念されていた「被保険者を含めた運営協議会の設置」と、広域連合議会の情報公開の徹底を求める内容の付帯意見をつけました。

また、伊万里市環境センターは、老朽化が進み、地元の皆さんに多大なご協力を頂くととも

に、莫大な修理費をかけて延命している状況にあります。そこで、ごみ焼却場を集約化するという国の方針を受け、県が示している広域ブロックによるごみ処理へ向けて、具体的な協議に入るための組織が作られます。平成26年度を目標に、伊万里市長が協議会会長として、西部ブロック(伊万里市・武雄市・鹿島市・嬉野市と、有田町など5町)での在り方について協議を始めます。

補正予算の主なものは、老人福祉センターの耐震改修・トイレ改修・玄関バリアフリー化のための予算、国史跡大川内鍋島窯跡にある藩役宅跡購入費などです。



環境センター（黒川町）

◎堀 良夫 ○盛 泰子 前田 久年 前田 教一
岡口 重文 原口 弘 下平 美代

行政視察報告

10月16日から19日の日程で、3ヶ所の行政視察を実施しましたので、その概要を報告します。

(1) 東京都立川市:子育て支援施策

平成7年から子ども家庭支援センターが設置され、取り組みがなされていたが、17年度からは東京都の「先駆型子ども家庭支援センター」となり、児童虐待の予防と早期発見、見守りサポート事業が追加されている。分かりやすい市民用マニュアルが作られていた。また、要支援家庭の早期発見・早期支援のためのボランティア相談員「市民型ソーシャルワーカー」養成講座を開催している。

(2) 茨城県高萩市:株式会社による広域通信・単位制の「ウィザス高校」

昭和62年以来、大検予備校として不登校・中退生に対する学習の再チャレンジに取り組んできた株式会社が、広域通信・単位制高校設立を計画したのを受けて、市は教育特区を取得し誘致。平成17年4月開校。通学コース、通信コース、科目履修コースがあり、初年度入学者は全国から4,000名。ボランティア・農業体験等の体験学習を骨格として、多様な教育を提供している。

(3) 茨城県牛久市:学校ピオトープから始まるまちづくり

学校・NPO・行政が協働して取り組む「環境とまちづくり」を主体とした総合学習の授業実践。牛久市は水質汚染など環境悪化が著しい霞ヶ浦水系にあり、「市民参加の学校づくりからまちづくりへ」との趣旨のもと、学校のピオトープ(生物の生息空間)で育てた希少種のアサザ(多年草の浮葉植物)を霞ヶ浦へ植える活動。素晴らしい取り組みを学ぶことができた。



ウィザス高等学校（高萩市）

産業経済委員会

★所管 産業部、農業委員会

本委員会に付託された議案は、専決処分の承認及び平成18年度一般会計補正予算(第6号)でありましたが、慎重審査の結果、原案どおり可決・承認すべきものと決定いたしました。なお、所管の3箇所について現地調査を行いました。

専決処分の承認議案は、18年度一般会計補正予算(第5号)で、9月16日及び17日に発生した秋雨前線豪雨による災害に早急に対応するため補正されたもののうち、本委員会が所管するものです。主なものは、農地災害復旧費に2,239万6千円、農業用施設災害復旧費に5,356万9千円、林地災害復旧費に194万3千円が計上されました。

次に18年度一般会計補正予算(第6号)のうち、本委員会が所管する主なものは、農林水産業費では、中山間地域等直接支払い交付金事業に181万1千円、農林地崩壊防止事業に225万8千円、治山一般事業に3,154万2千円が計上されました。

行政視察報告

本委員会では、平成18年10月16日から4日間行政視察を行ったので、その概要を報告します。

◎愛知県常滑市(市域54km²、人口51,115人):
常滑焼の振興

日本六古窯の一つ、平安時代よりつば、かめの産地として栄え、幕末から新たな焼き物朱泥焼が創出され、土管が製造されるに至った。現在、置物・テラコッタ・タイル・植木鉢・衛生陶器等が生産されている。

市内観光コースとして2コースが設定されており、陶磁器会館を起点として、途中には登り窯公園・レンガ敷歩道・展示工房・民間工房等あり、年間約80万人の観光客が訪れている。

◎滋賀県長浜市(市域223km²、人口41,577人):エコミュージアムによる観光及び農業の振興

伊吹山山麓は、稀少動植物が生息し、源氏ポタルは特別天然記念物に指定されており、薬草の宝庫でもある。

災害復旧費では、農地災害復旧事業に(田270ヶ所、畑30ヶ所)2億9,251万1千円、農業用施設災害復旧事業に7億3,270万4千円、林道災害復旧事業に2,169万5千円が計上されました。

現地調査した箇所は、次のとおりです。

- 伊万里・有田焼伝統産業会館(台風13号建物被害)
- 瀬戸町中通水路(農業用施設災害)
- (株)SUMCO(第5工場建設現場)



着々と建設が進む(株)SUMCO第5工場

◎高木 久彦 ○貞方 喜延 山崎 秀明 山田 悟
笠原 義久 岩橋 紀行 樋渡 伊助

伊吹山山麓一帯をまるごと、都市と農山村の若者の交流を実現する「エコミュージアム構想」が推進されている。農山村体験ツアー等。

◎和歌山県田辺市(市域1,026km²、人口85,582人):梅振興策の取り組み

農業教育振興基金の積立、減農薬栽培事業、新規就農者セミナー事業等に取り組まれている。梅の加工工場や品質管理をされているJA紀南の食品安全分析センターを視察した。



JA紀南 梅加工施設(田辺市)

建設委員会

★所管 建設部、水道部

本委員会に付託された、条例議案2件、一般議案3件、補正予算4件について、慎重審査の結果、原案のとおり可決・承認すべきものと決定しました。

条例議案の市道認定については、木須西21号線他4路線を今回認定致しました。

補正予算の主なものは、土木施設災害復旧費として6,749万7千円計上されておりますが、これについては台風13号（9月）による経費であります。

なお、平成18年4月から12月までの公共土木施設災害に関わる箇所は、河川177箇所、道路159箇所、合計で336箇所となっており、被害総額は約20億円に達しております。これらの災害については、年内にすべての査定が終わり、3カ年以内で復旧が終了する予定との説明があり承認致しました。

平成18年度伊万里市工業用水道特別会計補正予算の999万6千円については、第4工業用水道の工事着手に伴う嘱託職員（7名分）の賃金、作業服、机などその他事務用品に要する費用であるとの説明を受けました。



災害箇所の視察（南波多町府招）

◎福田 喜一 ○満江 洋介 島田 布弘 前田儀三郎
占野 秀男 田中 啓三 岩本 盛房

行政視察報告

当委員会は10月2日から5日までの日程で、群馬県沼田市と栃木県日光市の研修視察を行った。

◎群馬県沼田市:歩いて暮らせる街づくり 駅前広場整備

歩いて暮らせる街づくりには、地域のさまざまな工夫や発想を源泉に、生活の諸機能がコンパクトに集合したバリアフリーの街において幅広い世代が交流し、助け合うことなどを通じ身近な場所での生活を可能にするとともに、少子化、高齢化社会に対応した安心安全でゆとりのある生活の実現に向かって、市のテーマとして「積雪地域、急峻地形等歩行障害がある地域の対策」「生活諸機能がコンパクトに集合した暮らしやすい街づくり」「安全・快適で歩いて楽しいバリアフリーの街づくり」など、公共団体と住民が協力して永続的に取り組んでいるとの説明を受けてから、現地調査を行った。

◎栃木県日光市:都市公園の管理整備、市営住宅労働単身者住宅

都市公園の数は47公園であり、その中で指定管理者制度に移行している公園が25施設、全体の公園維持管理について清掃委託料や指定管理料などの説明を受けた。

労働単身者住宅については、鉄骨造り3階建18戸が完成をし、現在10戸の入居者であった。入居条件は市内に在住する若年労働単身者45歳までであるとの説明を受けた。



沼田駅前広場整備（沼田市）

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

特別委員会報告

1 西九州自動車道整備について

伊万里市域、谷口IC周辺一部残っていた協議がようやく合意され、11月末、地形地質調査の同意を得た。12月より地質調査、その結果を受け本年度中には改めて設計協議に入る予定である。東IC周辺については幅杭設置まで済んでいるが現在地積調査が行われており用地はその成果を活用し協議は19年度の予定である。伊万里道路は本年10月市の都市計画審議会、11月、県、国の同意を得て12月には決定告示の予定である。20年度を設計協議の目標にしている。伊万里松浦道路は山代ICから県境まで既に設計協議が完了している。

2 港湾整備について

臨港道路久原瀬戸線で現在、用地買収が終り本年度中には工事完了の予定である。

3 企業誘致について

本年11月まで延べ32社に対し立地勧奨が行われている。近い将来には希望が持てる企業もあったとの報告を受けた。

◎前田 教一 ○山田 悟 山崎 秀明
 岡口 重文 内山 泰宏 樋渡 伊助
 岩本 盛房 満江 洋介 福田 喜一

地域医療整備対策調査特別委員会

本委員会は11月3日、12月8日委員会を開催しましたので報告いたします。

1. 新病院整備における協議等の経過について

市民病院と社会保険浦之崎病院の統合の協議の経過及び中核的病院整備基本策定委員会における協議状況について説明をうけた。

社会保険浦之崎病院の本格的な譲渡協議は秋以降となる見込みであったが、秋の通常国会で社会保険庁改革関連法案が継続審議となったことなどにより先行き不透明な状況となっている。

2. 基本計画策定委員会

本市が目指すべき新病院の具体的計画を示すことを目的として、佐賀大学医学部、医師会、その他各種団体の代表をメンバーとした基本計画策定委員会が設置され委員会は2回開催されている。主な意見、「西部地域に同じ公的病院が2つも必要か」「新病院が近隣の有田共立病院と同じ性格の病院

を目指すこととなれば共倒れの可能性もある」「医師、看護師の確保ができるのか」等の厳しい意見も出されている。

3. 今後の病院整備

社会保険浦之崎病院との統合を前提に可能性を探ってきたところであるが、西部医療圏全体の中で中核的病院建設について検討する必要がある。市民病院、有田共立病院、社会保険浦之崎病院の統合を視野に入れ伊万里市の中核的病院として進出すべき方向性について十分な議論、協議を重ねていただきたい。

その後、12月13日の全員協議会において、市長より市民病院と社会保険浦之崎病院及び有田共立病院の3病院での統合をめざすことについて意思表示がなされた。

◎下平 美代 ○前田 久年 樋渡 雅純
 川内 学 堀 良夫 高木 久彦
 笠原 義久 田中 啓三 浜野 義則

平成17年度伊万里市一般会計及び 特別会計決算審査委員会

標記の件について特別委員会を設置、10月末から5日間にわたり審査を行いました。

歳入総額は約201億3,329万円、歳出総額198億5,526万円で2億7,802万円の黒字となっている。しかし国の交付税や国庫補助負担金の見直しなど地方には厳しい財政状況が続いている。財政健全計画のもと市税等の歳入確保は勿論、施策事業の厳選、見直しが行われているが、今後大型事業計画もありなお一層の財源有効活用、経費節減合理化など更なる努力を望むものである。

歳入全般での課題は、管理職をはじめ職員の努力で収納率はやや向上しているが、市税や保育料などの収入未済額が増加傾向にある。

納税指導や滞納処分強化、口座振替などの促進を図り未納者の発生防止に努められ

たい。特に保育料未納は私立の保育園に多く園児の在園中徴収を基本に収納未済の解消に特別の措置を望む。

歳出全般については経費節減に努められているが、以前から指摘されていた予算の流用、予備費充用には更に改善を求める。

8つの特別会計では、国保会計、立花台地、公共下水道、農業集落排水、市営駐車場、老人保健の6会計が赤字決算となっており、それぞれ対策を講じられたい。と指摘しました。(本文は3頁に及ぶため、報告は趣旨掲載)

◎占野 秀男 ○貞方 喜延 山崎 秀明
樋渡 雅純 前田 久年 岡口 重文
田中 啓三 浜野 義則

平成17年度企業会計決算審査特別委員会

3企業会計の決算審査を実施し、委員会での意見要望を付し、認定すべきものと決定いたしました。

1. 水道事業特別会計について

有収率は、前年度と比較して上水道で0.38ポイント上昇しているが、簡易水道で0.09ポイント減少している。漏水防止対策や老朽管布設替工事等を推進し、長期的に安定した有収率の維持を期待する。

今後も収納、徴収については、職員一丸となって収納率の向上を目指し、最大限の努力をされるよう期待する。

2. 工業用水道事業特別会計について

工業用水道事業は、当面厳しい事業運営が予測されるが、本市にとって工業用水の確保は地域産業の振興にとって欠くことのできない産業基盤整備の重要な役割を担っており、長期的な展望のもとでの適正な維

持管理が求められている。

今後、健全財政に向かうため事業の効率的な運営、経費節減に努めるなどの経営努力を要望する。

3. 国民健康保険病院事業特別会計について

厳しい経営状況については、病院関係者一丸となり、経費の節減や収入増に向けた懸命の努力により、赤字幅が減少したことは評価するものの、純損失を計上する結果となっており累積欠損金は増大している。

この現状を再認識し、経営健全化に向けてなお一層の企業努力を図り、公的病院として市民の期待を十分に果たすことができるよう強く要望する。

◎岩橋 紀行 ○前田儀三郎 草野 譲
山田 悟 渡邊 英洋 堀 良夫
原口 弘 満江 洋介

一 般 質 問

(質問順)

一 般 質 問 事 項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
前田儀三郎 (一問一答)	1. 市小・中学校規模適正化推進協議会の諮問について (1) 市内小・中学校児童、生徒数に関わる適正化について	岩橋 紀行 (一問一答)	1. 市の財政健全化計画について (1) 17年度まで(第1次)の評価は (2) 18年度より(第2次)の計画について
占野 秀男 (一問一答)	1. 住みたいまちづくりについて、特色と具体策 2. 再び救急医療体制について		2. 市内のいじめ問題について (1) 教育委員会はどうか受止めているか (2) 市内の児童、生徒の実状は (3) 有れば具体的な対策、活動例は (4) 防止策は
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 地域防災の充実の為に (1) 洪水ハザードマップの作成と普及 (2) 災害弱者(要援護者)の避難支援 (3) 高齢者緊急通報システムの活用とあり方について 2. 教育行政について (1) いじめ問題について (2) 幼・保・小の接続教育について	貞方 喜延 (一問一答)	1. 新農業政策からもれる小規模農業経営者の対策について 2. 農業経営相談事業の今後の取組について
前田 久年 (総括)	1. 少子高齢化について (1) 子育て支援の充実について (2) 高齢者福祉の充実について 2. いじめ問題について	高木 久彦 (一問一答)	1. 伊万里名物「トンテントン」について 2. 「〇〇都市宣言」の活用実態について
前田 教一 (総括)	1. 黒澤明記念館建設の諸問題 (1) 今日までの顛末と今後の見通し (2) 黒澤明文化振興財団の財務内容とサテライトスタジオの運営状況 (3) 記念館建設及び関連へ伊万里市からの総投資額 2. 財政健全化計画について (1) 市税収納の現状と今後の取り組み (2) 新地積課税の考え方 3. 市民病院経営改善の取り組みとその成果 (1) 未収金の現状とその対策 (2) 市民病院(現場)からみた新病院統合合併の在り方	下平 美代 (一問一答)	1. クレー射撃場の今後の対応について 2. 史蹟大川内鍋島窯跡の保存整備のスケジュールについて
		山崎 秀明 (一問一答)	1. 国民健康保険事業の運営について (1) 国保税の現年課税分の収入未済理由とその納税説得について (2) 滞納者に対する保険証交付の要件付けについて (3) 国保税率の改定について 2. 9.16豪雨被害にかかる災害復旧について
盛 泰子 (一問一答)	1. 中核的病院整備計画について (1) 市民参加はどのように行うか 2. 選挙公報の充実について 3. 子育て支援について (1) ひまわり園への専門職の配置 (2) 学級支援サポーターの配置 (3) 大規模留守家庭児童クラブの分離	笠原 義久 (一問一答)	1. 9月に発生した豪雨による市内被害状況と今後の対応について 2. 伊万里ケーブルテレビジョン(株)と伊万里市のかかわりについて 3. 中核病院整備への基本的な考え方について

一般質問

市小・中学校規模
適正化推進協議会
の諮問について

前田儀三郎

質問 市内小・中学校の学校数は24校あります。

小学校の学級数135学級となり、特殊学級の数は含まれておりません。来年入学する児童の数は滝野小学校の2名を別として22名以下の学校は七校となります。

そこで、昭和29年4月合併後の市立小・中学校の統廃合を行ってきました。そこで少子化が進む中、再度「小・中学校規模適正化推進協議会」の審議を再開するための諮問委員会を行う考えは。

答弁 教育部長

「規模適正化協議会」の開催については、平成12年度の答申が最後でその後開催を行っておりません。現時点での諮問委員会の開催は考えておりません。児

童・生徒が今後著しく減少した場合は取り組みを考えたい。

質問 国見中学校が改修に向けて取り組んで頂いておりますが、今後の計画と見通しについてお示し頂きたい。

答弁 市長

厳しい財政状況の中、現時点では計画を進めたいが先の災害が発生した現状では厳しい状況にあります。災害復旧が先決と考えている。幸いに、激甚災害に指定いただいたので今後の財政状況を照らし合わせて進めていきたい。来年度の予算編成の中で検討したい。



住みたいまちづくりの特色は

占野 秀男

質問 伊万里市は「住みたいまちづくり」を目指しているが他市も人口増加を目標に取り組んでいる中で、どんな特色で市外の人の伊万里定住を目指すのか。

答弁 政策経営部長

伊万里市は「焼き物」と「伊万里湾」のイメージが強い。これまでの市内各階層の人の認識や市外の人のアンケートなどを参考に市民と協働で将来の伊万里市を目指したい。

答弁 市長

他市にない特色があれば関心も高くなるのは事実で

ありご指摘の意見に沿って今後具体策の検討が必要と思う。

中核病院は公的
3病院の統合で
考えるべき

樋渡 雅純

質問 これまで伊万里市の中核病院計画は、市民病院と社会保険浦之崎病院の2つの統合を考えていると答えてきたが狭い地域や背後人口、医師不足などの状況下では、考えを改め西部医療圏にある公的3病院の統合を検討すべきではないか。

答弁 建設部長
H17年に水防法の改正があった。国では、松浦川、徳須恵川で調査が終わり、県河川でも今調査中である。それらを基に、独自に市内全域を網羅したものをH19年度に計画していきたい。

答弁 市長

いろんな意見があり情勢も変わってきている。今検討している2箇所を固守せず、足を止めて考えるべきであり、考えを改め公的3病院の統合を視野に入れて取り組んでいきたい。有田町には自分から申し入れた

洪水ハザード
マップ作成

樋渡 雅純

質問 この地図は身近な地域の浸水状況、避難状況を分かりやすくまとめたものだが、今回の災害の教訓を生かし、地域の特性に合った細かな情報(各町別に国、県、市の河川を含む)の地図の作成を。

答弁 建設部長

H17年に水防法の改正があった。国では、松浦川、徳須恵川で調査が終わり、県河川でも今調査中である。それらを基に、独自に市内全域を網羅したものをH19年度に計画していきたい。

要援護者の避難
支援

質問 災害時の死亡者の半数は、高齢者を含む要援護者。災害情報を早い段階で本人に知らせるためにも、

一般質問

情報の共有は。取り組みと活用は。

答弁 総務部長

ガイドラインを受け、自主防災会の立ち上げもあり、その中で要援護者の情報収集を行っている。本人の同意を得る方式で進んでいる。支援計画に生かし、福祉、防災とも連携していきたい。

緊急通報システム

質問 このシステムは、緊急時に直接連絡できる点でも、安心感を確保している。双方向の利点を生かし、生活支援、言葉かけ、災害時での対応など、顔の見える幅広い活用をすべきでは。

答弁 市民部長

相談ボタンの機能など有効活用したい。他の事業とも連携し一人暮らしの高齢者に温かみのあるサービスをやりたい。

少子高齢化について

前田 久年

質問 子育て支援の充実について、若い共働き夫婦の核家族化の進行に伴い、今までの家族内での子育て支援体制を地域ぐるみでの子育て支援に全市的に拡大することが重要かと思います。子育て応援基金の活用について、どのような取り組みを考えているか。

答弁 市民部長

活用については、小学校就学前の児童をもつ保護者を対象とする支援事業を中心に考えているが、当面は子育て応援基金の趣旨について広くPR活動を行いながら、基金の造成に努めていく。

質問 高齢者の充実について、本市における要介護者に対する成果と課題は。

答弁 市民部長

一人暮らしの高齢者に対する事業対象者や介護サービス受給者については概ね満足を得ている。今後は事業の費用対効果を検証しつつ、いかに高齢者の生活ニーズに合わせたサービス体系を創りあげていくかが喫緊の課題である。

いじめ問題について

質問 「いじめなし都市宣言」等によって、いじめのない社会づくりを目指すという。とする市長の考えを伺いたい。

答弁 市長

常日頃より「住みたいまち伊万里、行きたいまち伊万里」をスローガンとしてまちづくりに邁進しているが、いじめをなくすことをまちづくりの一環と捉えている。この取り組みによって、全国に誇れるより良いまちづくりが達成されていくのではないかと考えている。

財政健全化計画について

前田 教一

質問 その計画に基づき市民にも広く痛みを分かち合う今日、諸使用料等は増額、補助金は減額されるに至っている。市民の責任でもある徴税の状況は県内でも最も厳しい健全化への最たる課題は徴収率をあげる事ではないか。

答弁 総務部長

確かに厳しい、苦慮している、但し現在の徴税対策室職員14名、さらに全庁挙げて取り組み新年度からコンビニでの収納等も考えており、その向上を目指したい。

新地籍課税の考え方

質問 地積調査事業は昭和58年着手され20年の歳月をかけ市内一円を完了の後、課税が決定されている。但

し厳しい財政事情と全て完了するには10年以上が見込まれいよいよ新年度課税の方針である。過去にも課税を具体的に考えられた経緯がある、但し市民の合意が得られていないとして断念された。今回、理解が得られたとする根拠は。又新年度から課税、一方10年後課税される地域、同じ市民でありながら公平性についてはどの様に説明するのか。

答弁 総務部長

区長会に方針を説明しアンケート等実施し、広く意見をきき理解して頂くよう努めてきた。事業完了には10年以上も要する事、既に新地籍での課税が売買等により半数に達している事からやむを得ないとの意見も頂いた。事業開始後23年も経過し、当初予想できなかった不均衡も生じている、今日の厳しい財政事情からもご理解を頂きたい。

中核的病院 整備計画

盛 泰子

質問 市民病院と社会保険病院との統合ではなく、公立病院まで含めた統合を望む市民が多い。どのようなスケジュールで協議をするのか。

答弁 市長 議会の同意を得られれば、今月中にこちらから有田町へ申し入れをする。

選挙公報の充実

質問 市会議員選挙時のケーブルテレビによる政見放送や文書配布には制限がある。全有権者に届く選挙公報の充実を（最大の嬉野市は、一人分のスペースが伊万里の2.7倍）

答弁 選管事務局長 県内10市の選挙公報を比較すると、伊万里市は一人分の広さが最も狭い。候補者数にも依るが、できるだけ

大きくするよう努力したい。

子育て支援の充実

質問 ①ひまわり園への専門職の配置が望ましい。現在の園児は専門的な訓練をどのくらい受けているか。②発達障がい児などが在級するクラスへの支援が必要。現状はどうか。③大規模な留守家庭児童クラブの分離を。

答弁 市長・市民部長

①例えば一人の園児が受ける言語聴覚士による訓練は3ヶ月に1回。間隔が少しでも縮まるよう検討したい。

答弁 教育長・教育部長

②今年度は市費で介助員3人を確保しているが、小学校10校（36人）、中学校5校（11人）が該当。県費での対応を県内市長会から重点項目として出している。③3年後から71人を超える大規模クラブへの補助金が廃止されるため、伊万里・大坪・立花クラブの分離を行う。

財政健全化 計画について

岩橋 紀行

質問 平成17年度まで（第一次）の評価は計画通りに進んでいるのか。

答弁 政策経営部長

全体予定額47億円のうち、約80%の38億円程度が達成可能の見通しである。

質問 平成18年度より（第二次）の計画では5年間で43億円の財源が不足する見通しであるが、厳しい、厳しくないに関わらず、市民が必要な行政サービスを受けるためには、応分の負担となる市税や公共料金をきちんと納める事が前提であり、給付と負担あるいは権利と義務の観点からして当然であり、市税・国保税・保育料・住宅使用料・水道料金など合計で約15億円にも上る収入未済額（過年度分も有）がある。仮に、これが無ければ財政健全化計

画により新たな負担を強いられることも必要なくなる計算になるので、これらに対しては、しかるべき対応を徹底し、100%収納に向けた向上策の取り組みをすべき。

答弁 総務部長

専任職員をはじめ、担当課全体で徴収回数を増やして収納に努力している。

質問 歳出削減について補助金の削減策を考えるべき

で、メリットや生産性をもたらず補助金を目指し、メリハリのある策を進めることが大切と思うが。

答弁 市長

健全な政策の実施には、滞納対策をしっかりとするとともに、メリハリと見極めのある効果的な歳出削減策を進めていきたい。

（二問省略）



新農政からみれる 小規模農業経営者の 対策は

貞方 喜延

質問 平成17年10月27日に決定された、戦後農政の大転換といわれている「品目横断的経営安定対策」の中身は。

答弁 産業部長

品目横断的経営安定対策は2007年産、麦大豆の作付けから実施されるもので、対象者は経営規模4ha以上の認定農業者と、一定の要件を備える集落営農では経営規模20ha以上で、これには特例措置もある。

質問 経営規模4ha以上の認定農業者と、一定の要件を備える集落営農規模20ha以上で、経営規模の特例はあるにしても、小規模の農業経営者が多い中山間地域は、この対象外となる地区も出て来ると思われるがその対応は。

一般質問

答弁 市長

国の農政の大転換であり、集落でも諸問題がいろいろ出て来ると思うが、特例要件、緩和要件の基準等、問題点を精査して、今後農協とも協議して政府にも働きかけて行きたい。

農業経営相談事業

質問

農業後継者との交際を考える、独身男女を対象に出合いの会が発足し、今年迄7年が経過したが成果と今後の取組みは。

答弁 産業部長

年2回の会を実施し33組のカップルが出来、参加者のうち21人が結婚された。

答弁 市長

今後畑の中のレストラン等を活用して、農協青年部と都市の独身の女性を招き交流の場づくりをやって行きたい。今後も農協と連携を取り、責任を持って事業推進をやっていく。

伊万里名物 トンテントン

高木 久彦

質問

今回の合戦で高校生が亡くなったことについて、いろんな声が聞かれるが、死傷者に対する補償はどうなっているのか。

答弁 産業部長

出番町から提出される名簿により奉賛会で傷害保険が掛けられ、事故の場合、保険で補償されることになる。

質問

来年のトンテントンは中止されることになったが、2年後はどうなるのか。

答弁 産業部長

奉賛会では、数回にわたる善後策が協議されてきたが、更に4つの分科会を設け、事故処理を含め、対策が協議されることになっている。

質問

今回の事故について、市長はどう思っているか。

答弁 市長

高校生が亡くなったことは大変残念である。市が助成しているから市に責任があるとは言えない。ケンを力売り物に全国へ紹介しているが、死傷者が出ないような対策が取られることを望んでいる。

「〇〇都市宣言」について

質問

本市では、これまでどんな「都市宣言」がなされているか。宣言は、市の指針・指標であり、内外へ知らせるため、庁舎玄関に表示するなど啓発すべきではないか。

答弁 政策経営部長

「交通安全」「暴力追放安全」「スポーツ」「非核平和」「男女共同参画」「食のまちづくり」「東アジアのへそ伊万里」「いじめなし」の8つの都市宣言を行っており、市のホームページには載せている。アピールの方法等については検討したい。

クレー射撃場の今後の対応について

下平 美代

質問

①クレー射撃場の利用者の状況②土壌検査の結果、基準値の17倍の地点があったが対策は③今後の対応は。

答弁 教育部長

着弾地地点で基準を上回っている。

答弁 市長

休止・中止を視野に入れて検討する。「それは」①利用者の9割が市外者、市内の会員20名、そのうち10日以上の利用者7名。②佐賀県営の射撃場があり、市単独で存続させる理由が希薄である。

大川内山国史跡指定

質問

大川内山国史跡の予算が計上されているが、予算執行の諸課題について。

答弁 教育部長

窯業組合所有となつている国史跡については、今日までの諸事情を勘案して交渉に当たりたい。規制が、家屋 地下 樹木等とあるが、今後も説明会を開き個々の要望に応えたい。

予算執行については、議会終了後直ちに取り組み、窯元まつりまでには整備したい。

今後も鍋島の歴史、これからの諸課題について、地元と協議し研修会を開きたい。



国民健康保険事業 の運営について

山崎 秀明

質問 ①国保税の収入未済の理由は何か。②未納者の説得はどうされているか。③階層別課税のうちどの階層に滞納者が多いのか。④滞納者に対する保険証交付の条件付けができないか。⑤国保税率の改定はどうなるのか。

答弁 総務部長・市民部長
国保加入世帯は低所得者層の課税範囲に多くが該当し、未納の主な原因となっているほかに前年度所得の課税による軽減が受けられない。その他納税意識の低下もみられる口座振替の指導や夜間訪問の実施と保険証交付の制限をしているが、これ以上の制限はむずかしい。
国保税率の改定は現在国保運営協議会に諮問中で答申を得て19年4月からの実施を考えている。

9・16豪雨被害 にかかる災害復 旧対策について

山崎 秀明

質問 補助対象外の小災害について、小規模土地改良費の増額や災害復旧のための単独事業の創設ができないか。

答弁 産業部長・市長
小規模土地改良事業費の増額はできない。
中山間地域直接支払制度の対応をお願いしたい。
新規事業となれば例となり財政的に困難である。
小災害は本当に復旧したいところを確実に調査して、財政状況をみながら対応したい。

9月豪雨の復旧 状況について

笠原 義久

質問 河川道路等の復旧については、認定ヶ所のみ工事では根本的な解決策にはならないのでは。

答弁 建設部長
予算や管理上の問題があるので全体的となるとなかなか難しい。只市民生活に大変不備を与える場所については、市単独事業として採択し、推進する事も考えられる。

質問 防災の日の制定は。

答弁 市長
過去の災害を振り返ると42年の水害は市を根底から覆すほどの大災害であった。この日を市民の防災の日として検討するに値する。

市とケーブルテレビと のかかりについて

質問 伊万里市はケーブル

テレビに出資をし、役員まで送り込んでいる。今日の38%に及ぶ契約料金の大幅アップは老人家庭や年金生活者に大きな影響を与える事になるが。

答弁 助役
電波法の改正により多額の設備投資を余儀無くされている状態でやむを得ない。

中核的病院整備 について

質問 有田共立病院を含めた統合が望ましいと結論に至った理由は。

答弁 市長
市の財政負担が大きく、西部医療圏に2つの公立病院が出来れば、共倒れの心配がでてくる、又医師の確保も難しく、規模拡大で高度医療や救急医療が対応出来る為。

質問 今後の有田町への働きかけは。

答弁 市長
積極的に話し合い統合にむけて働きかけていく。

議案質疑

公共下水道事業 再評価業務委託

質問 ①来年度に事業再評価を受けるための委託料280万円があるが、この内容は何か。②答申はいつ頃になるのか。③下水道マスタープランの見直しにつながるのか。

答弁 建設部長
①の効率性や実施過程の透明性の向上を図るため、国が平成10年度から導入した「再評価システム」により、来年度、県内5市8処理区について再評価を受けるよう県から指示があった。伊万里処理区は「事業採択後10年間が経過した時点で継続中の事業」に該当。②6月に諮問し、来年度中に答申。③場合によりうる。

一般質問



平成18(2006)年 行政視察受け入れの状況 (1～6月期)

月	来訪議会名	人数	視 察 項 目	
1	千葉県印西市議会	5	伊万里駅周辺整備 (駅ビル)	会
	千葉県袖ヶ浦市議会	2	公民館長の公募	会
	福島県会津市議会	4	学校給食センターの整備	会
2	愛知県安城市議会	4	サステイナブル・フロンティア知的特区	会
	京都府綾部市議会	6	伊万里はちがめプラン	会
	山口県下関市議会	4	指定管理者制度	会
	山口県萩市議会	8	伊万里はちがめプラン	会
	徳島県小松島市議会	7	学校給食センターの整備	会
4	鹿児島県いちき串木野市議会	11	議会運営、議会改革	委
	埼玉県上尾市議会	13	議会運営、議会活性化	委
5	新潟県妙高市議会	11	入札制度の透明性、自主防災組織	委
	神奈川県海老名市議会	10	畑の中のレストラン	委
	福島県南相馬市議会	15	観光交流事業	委
	京都府宇治市議会	11	行政評価システム、権限の委譲	委

※ 人数は、議員のほか随行者も含みます。

※ 「委」は委員会、「会」は会派での視察を意味します。

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています。



お相撲さんは大きいな～
(東関部屋 牧島保育園訪問)



見て、見て！すごいですよ
(カトリック幼稚園 芋掘り)

印刷 山口印刷株式会社

編集 市議会だより編集委員会

編集

E-mail: gikai@city.inari.jp

TEL: 0955-2211277

TEL: 0955-2312111

伊万里市議会

伊万里市立花町二五五

発行

(顧問) 島田布弘、原口弘
前田儀三郎

◎盛 泰子、○樋渡雅純、
山田 悟、前田久年、

情報共有の役割が果たせ
ますよう、張り切って発
行して参ります。

失礼を致しております。
19号に対して市民の方
から、お褒めの手紙を頂
戴しました。これからも
情報共有の役割が果たせ
ますよう、張り切って発
行して参ります。

議員は公選法により、
選挙区内の方へは頂いた
年賀状への自筆の答礼の
みしか出せませんので、
えのこともお慶び申し上
げます。

編集後記

